

年 組 () 名前

サイン

焼き芋自販機 人気じわり 前橋

◆群馬県前橋市のお店が焼き芋を自動販売機で売り出しました。

自動販売機ではLサイズとSサイズの焼き芋が売られている



【1】あなたがすんでいるところには、どのような自動販売機がありますか。

【2】サツマイモをつかったお菓子や料理には、なにがあるでしょうか。たくさん書きましょう。

ほくほくの焼き芋が買える自動販売機を、前橋市朝日町の甘味処「ことほぎ」が店の脇に設置した。2月下旬に売り始めると「気軽に買えて便利」などと話題を呼び、最近の「焼き芋ブーム」も追い風になって毎日70個近くを売り上げている。

(2022年4月1日 読売新聞群馬版より)

※先生やおうちのひと
いっしょに読みましょう。



満開の桜に囲まれて行われた「人間将棋」

◆山形県で開かれた春の伝統行事。絢爛豪華な装いが来場者の目を楽しませました。
(2022年4月18日 読売新聞朝刊より)

藤井竜王 人間将棋に「出陣」

将棋駒の産地として知られる山形県天童市で、春の伝統行事「人間将棋」が3年ぶりに開催され、史上初の10代五冠を達成した藤井聡太竜王(19)が17日、対局者として初参戦し、佐々木大地六段(26)に勝利した。

人間将棋は、甲冑姿の人が将棋駒役となり、縦約17㍎、横約14㍎の巨大な盤上を動き回る。対局者は全ての駒を一度は動かし、「ござる」などをつけ

た武者言葉で掛け合いをするのが慣例となっている。

武者姿で登場した藤井竜王が「天童にお招きいただき、大変うれしゅうござる。全軍を躍動させ、勝利を目指したい」と意気込むと、会場は大いに沸いた。

新型コロナウイルス対策のため、会場観覧は660人に限定され、事前抽選には約18倍の1万1714人から応募があった。

読売新聞オンラインに動画



武者姿で臨んだ藤井聡太竜王

山形・天童

【1】「人間将棋」とは、どのようなものですか。

【2】甲冑には色んな種類があります。調べましょう。

【3】天童市は、どのようなところでしょうか。調べて裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

(2022年4月19日
読売新聞夕刊より)

◆信号機のない横断歩道を渡ろうとして、車が近づいてきた時、あなたはどのようにしていますか。

手を上げて横断歩道を渡りましょう。幼い頃、多くの人が耳にしたフレーズを、警察当局が再び強調している。道路横断中の事故が絶えないため、昨年、43年ぶりに交通マナーを解説した教則に復活させ、歩行者への周知を図っている。

横断 やっぱり 手を上げて

交通事故死者(30日以内)に占める 歩行中死者の割合

※2020年統計を基にした警察庁のまとめ(米国のみ19年)



「自動車安全運転センター(東京)の2019年度の調査で、歩行者が正面を見て手を上げていない時と比べ、手を上げると、車の減速・停止率が倍近くまで高くなる」と判明。こうした結果などから、警察庁は

「自動車の安全運転センター(東京)の2019年度の調査で、歩行者が正面を見て手を上げていない時と比べ、手を上げると、車の減速・停止率が倍近くまで高くなる」と判明。こうした結果などから、警察庁は

た結果などから、警察庁は昨年4月、教則を改正し、「横断する時は、手を上げるなどして運転者に横断する意思を明確に伝える」と明記した。春の全国交通安全運動でも、各地の警察が街頭などで手上げ横断の徹底を呼びかけた。警察庁の担当者は「信号機のない横断歩道を渡る際は、大人も車に向き、手を上げるなど、合図をしてほしい」と語る。歩行者への働きかけを強化した背景にあるのは、歩行中の事故の続発だ。昨年は全国で941人が死亡した。215人は横断歩道を渡っている時で、このうち66・5%では、車両が一時停止しないなど「横断歩行者妨害等」が確認された。道路交通法では、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合、車は直前で一時停止する義務がある。しかし、21年に日本自動車連盟(JAF)が信号機がない横断歩道で調査した結果、停止した車の割合は全国平均で30・6%にとどまった。

【1】横断歩道を渡ろうとしていることを、歩行者がドライバーに知らせるには、手を上げる以外にもどのような方法があると思いますか。

【2】横断歩道を渡るとき以外に、車の運転が危ないと感じたことを挙げましょう。それを防ぐため、どのような交通規則が必要だと思うか、書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

性別による思い込み



大型ダンプカー運転手
古澤未来さん

「男性と対等に働ける」

「バイアス」気づこう

「白バイに乗って悪質な交通違反者を検挙する」…①

「保護者から預かった子どもと遊んだり、昼食や昼寝の世話をしたりする」…②

こんなプロフィールから、どんな人物を想像するだろうか。①は男性、②は女性——だと思った人は少なくないだろう。上の写真の女性はダンプカーの運転手なのだが、「女性なのに？」と思う人もいるはずだ。

そんなイメージをしてしまったなら、その背景にあるのが、性別に基づく「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」だ。幼い頃からの経験、周囲の意見、日常的に接する情報から作り上げられ、誰もが持っていると言われる。

アンコンシャス・バイアスに無自覚だと困りもの。日々の判断や言動に大きく影響すること

があるからだ。たとえば、「男子は理系、女子は文系」という考え方。理系の大学に進学したい女子高生が「私は無理」と思い込み、進学をあきらめることになりかねない。



(2022年4月8日
読売中高生新聞より)

✓ 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）をセルフチェック！

自分自身の中に、思い込みや決めつけはないだろうか。Yesと思う設問にチェックを入れてみよう。

自分に潜むアンコンシャス・バイアスを克服するには、どんなバイアスを抱いているかを知ることが第一歩。

- | | |
|---|---|
| ☐ 女性に理系の進路(学校、職業)は向いていない | ☐ 家事・育児は女性がすべきだ |
| ☐ 男性は人前で泣くべきではない | ☐ 女性は感情的になりやすい |
| ☐ 女性には女性らしい感性があるものだ | ☐ 男性は仕事をして家計を支えるべきだ |
| ☐ 組織のリーダーには男性のほうが向いている | ☐ 女性には高い学歴やキャリアは必要ない |
| ☐ 男性は結婚して家庭をもって一人前だ | |

内閣府男女共同参画局の資料を基に作成

【1】自分の中の「思い込み」を知るために、上の表にチェックを入れましょう。

【2】記事で紹介しているほかに、どのような職業で、男女の役割や働き方、割合などに差が生じていますか。あなたの考えや、調べてわかったことを書きましょう。

【発展問題】無意識の思い込みや偏見は、さまざまな分野や場面に潜んでいます。「性別」以外で、思い込みが潜んでいると感じるものを挙げ、そう思う理由も裏に書きましょう。



年 組 () 名前

サイン



◆山梨県身延町の博物館が、全国47都道府県で採れた砂金を集めた「日本砂金地図」を完成させました。(2022年4月15日 The Japan Newsより)

Map gathering gold dust from all of Japan finished

A museum in Minobu, Yamanashi Prefecture, gathered gold dust from all of the nation's 47 prefectures for 15 years and completed a map of Japan in March, when gold dust from Chiba Prefecture supplied the last piece.

The endeavor involved 48 collectors from across the country.

About 15 years ago, the museum held a special exhibition showcasing gold dust from Hokkaido, Tochigi, Gunma and Yamanashi prefectures. The event encouraged collectors to bring gold dust from other prefectures for exhibition at the museum.

Once a permanent exhibit of an 80-square-centimeter gold dust map was launched, the museum began receiving gold dust from around the country.

【1】地図が完成するまでどのくらいかかりましたか。日本語で書きましょう。

【2】最後まで残っていたのはどこの砂金ですか。都道府県名を英語で書きましょう。

【3】地図が完成するまでの経緯を日本語でまとめましょう。

Map gathering gold dust from all of Japan: 日本砂金地図、museum: 博物館、Minobu: 身延町、Prefecture: (都道府) 県、gathered: 集めた、all of the nation's: 全国、completed: 完成させた、March: 3月、supplied: 供給した、the last piece: 最後の一個、endeavor: 取り組み、involved: 参加した、collectors: 収集家、across the country: 全国、held: 開催した、special exhibition: 特別展、showcasing: 展示する、encouraged: 奨励した、Once: いったん~すると、permanent exhibit: 常設展示、80-square-centimeter: 80センチ四方、launched: 始まった

よりよく生きるために必要な「読解力」を育てる

教員、教委の
みなさまへ！

よむYOMUワークシート

教材のご案内

小学生版

中学生版

(例：小学生版)



紋別小学校（北海道紋別市）での取り組み（2021年度）



(1) 回答欄つきのワークシート



配信例
(1回あたり)

(2) 解答・解説シート



(3) 学びを
深める
関連記事

+学習指導
要領との
対応表

お問い合わせは…

読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
☎ 03-3217-1967 Fax : 03-3217-1968
Mail : ednet@yomiuri.com
Web : kyoiku.yomiuri.co.jp

読解力 向上
プロジェクト
Utilizing Newspapers In Schools for Overall Reading-literacy

● 最新ニュースを厳選したワークシート！

新聞記事をもとに作成した教材を、半年間で15回配信します。1回の配信内容は3枚（ワークシート／解答・解説／関連記事）＋学習指導要領との対応表。いずれもA4カラー、白黒印刷可能です。

※小学生版または中学生版からお選びください

※難易度別シート（各3回分程度）、人気のシート（各3回分程度）もダウンロード可能です

◆ 配信イメージ（前期）

※登録期間中であれば、配信日以降はいつでもダウンロード可能です。カリキュラムに応じて自由にお使いください



● 1回あたり20円！

【標準価格】半年：児童生徒1人あたり300円／1年：600円

※参加人数・時期など条件により変わります。お問い合わせください

● 無料体験版をお試ください！

はじめての方は、無料体験版をご利用いただけます（ダウンロードできる教材：過去のシート5枚＋最新シート1枚）。1、2か月程度、シートを実際にお試しいただき、有料版への移行をご判断ください。

※無料体験のお申し込みは原則各学校1回といたします

【効果測定の方法】児童生徒の意識変化等を確認したい場合は、教材取り組み前と後に使用するアンケートをお渡します（※アンケートは各学校で集計をお願いします）

◀ 裏面もご覧ください

よむYOMUワークシート



オススメ

① 短時間で使える

実施時間は10～15分

よむYOMUワークシートの実施時間は「15分以内」が8割、中学校のみでは「10分以内」が66%を占めました。「授業の『すきま時間』に利用できて重宝した」「教師が記事を探すところから準備するのは難しいので、助かった」「最初からルビや注釈がついているので読みやすい」との評価をいただいています。

オススメ

② 子どもの「読む姿勢」が変化

必要な語 見つけられる

教材に取り組む前後に行った意識調査では「文章を読むとき、必要な語を見つけることを意識している」という問いに対する回答が右図のように変化し、読解に必要な力が備わってきていることがわかりました。また、「教材をやってよかった」は88%、「教材は役に立つ」は91%という回答からも、児童生徒に高く評価されていることがわかります。

オススメ

③ 学習指導要領に沿った内容

読むこと「精査・解釈」／学びに向かう力 育む

読むことはもちろん、「新学習指導要領」が目指す「学びに向かう力、人間性等の涵養」に役立つ教材であることも示されました。興味を持って取り組んだ児童生徒は、テストの得点が伸びています。

■ 監修者のことば

富山 哲也 十文字学園女子大教育人文学部児童教育学科教授

新しい学習指導要領が求める「読解力」は、大きく2つに分かれます。

まず、何を述べようとしているのかの大意をつかむとともに、目的に応じて必要な情報を得る力です。そしてもう一つが、「表現の仕方などに着目し、書き手がどのように、どんな意図を持って伝えようとしているのかをとらえる力」です。特にこの二つ目の力が、これからの情報化社会に必要な「力」であり、日本の子供の弱点でもあります。

二つめの力は、「なぜこの文章は『信頼できる』と判断できるのか」「この文章の論の進め方に説得力がないのは、なぜか」「どういう意見を読み手に伝えよう」と意図して編集しているのか」など、常に書き手の狙いを考えながら読み進めることが求められます。多くの情報に触れ、生活していく時に、書き手の狙いを読み解く力がないと、「だまされる側」になりかねません。情報の「善し悪し」を判断するための力とも言えます。

書き手の狙いをとらえる力があればこそ、逆に自分が書く側になった際、自分の意図をうまく表現・編集することができます。ですから「読解力」が向上すれば同時に「書く力」「伝える力」も向上するはずです。

二つめの力を重視した問題集はまだ数少ないのが実情です。よむYOMUワークシートはその点に着目していることが強みであり、特徴だと考えます。

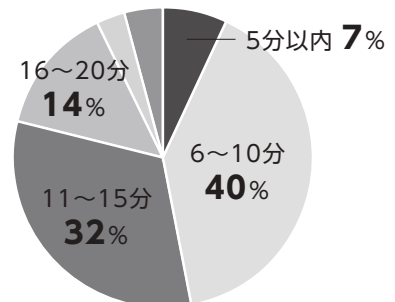


これまでに
全国200校、
約2万6000人が
取り組み
ました

2021年度 教員アンケートより

◆よむYOMUワークシートの実施時間

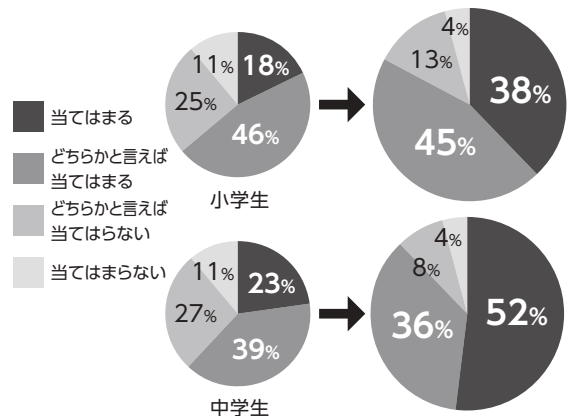
【小中計】



2021年度 児童生徒アンケートより

◆実施後の変化

「文章を読むとき、必要な語を見つけることを意識している」



◆児童生徒の声

物事をさまざまな視点から見られるようになった／視野が広がった

自分のことや世の中のいろいろなことを考えるようになった

興味がなかったものに興味がもてた

ニュースなどについて前よりも自分はどうかなど考えるようになった

ニュースについて家族と話すようになった

いろいろな事を考える力がついた

文章を読むことの大切さに気づいた

人に伝える言い方がうまくなった

文章の構成を考えるようになった／文をまとめられるようになった

文章を読むようになった／読むのが楽しくなった